



木を守り地球を守ろう

松村 茜里

1. 提案のきっかけ

木に関する本で私達が出す二酸化炭素を酸素にしてくれるなどの役割をはたしてくれる木・森林が少なくなっていることを知った。木・森林がなくなってしまうと二酸化炭素で、大気中の熱の吸収量が増え温暖化してしまうそうだ。温暖化してしまうと北極や南極の氷が溶け出し海面が高くなり海に沈んでしまう国が出てきてしまうということを知った。

その国や、島などを少しでも守りたいと思ったからだ。

現状や問題点

- ・ 木をよく使うようになり、森や森林が減ってきてしまっている。
- ・ 森林などの管理者が、高齢者の方が多く管理しきれない森林が増えている。

管理しきれない森林があると、森林本来の役割を果たせなくなり
二酸化炭素が酸素にならず、地球温暖化が進んでしまう。

提案すること

木を切る・植える体験を増やす。

私は、色々な学年が木を切る・植える体験を出来るようにすることを提案する。

理由

木に関する体験をすることで木に興味を持ったり木の大切さを知ってもらえると考え、木の大切さを知ったら森林や木を守れると考える。



2.山を使いイベントを開催する

山などを使いイベントを開催し、終わりの頃に山にある木について話したりし木を守る活動があることなどを教える。

理由

木に関わっているイベントで、木について知ったり木の大切さが分かったり木は何にでも使えることが知れると考える。

効果

木を切る・植える体験を体験し、木の大切さや森林の今の現状について話すと、積極的に森林を守る活動をしてくれると考える。

子供が興味を持ってつくれたら大人になったとき林業などの木に関係している仕事について、森林が守られていくと思われる。守られた森林などから木が増えたりし、地球温暖化が進みにくくなると考える。